



2019年度 春季審判講習会

2019年4月6日
麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部

本日の流れ

テーマ

「レフェリーとしての基礎の確認」

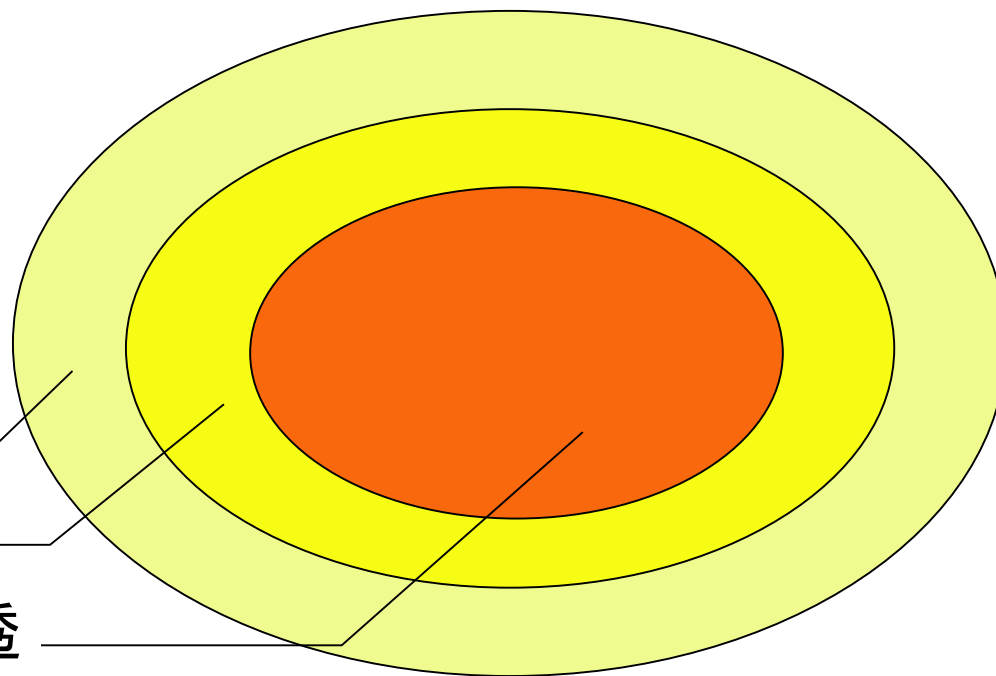
～2019年度公式戦担当へ向けて～

1. ルールの理解
2. ルールの適用
3. ルールの浸透
4. 審判報告書

理解

適用

浸透





1. ルールの理解



2. ルールの適用

2. ルールの適用

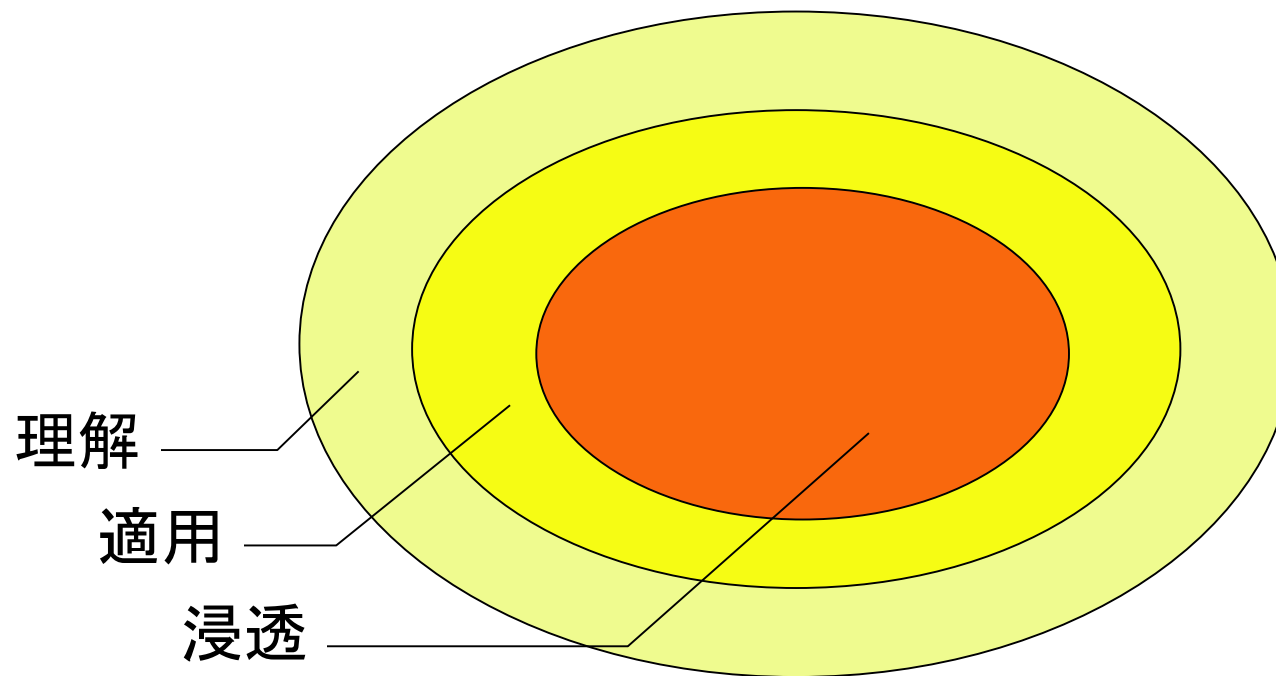
【判定トレーニング】

- 2018ナイスジャッジ集を観て、
いいジャッジのイメージを作りましょう。
- 2019Jリーグスタンダードを観て、
今シーズンのジャッジの基準を身につけましょう。



3. ルールの浸透

3. ルールの浸透



理解：競技規則を、その理念や背景も含め正しく理解すること。
適用：目の前の事象に規則をスピーディかつ正しく適用すること。
浸透：毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者にルールを浸透させること

★理解できていても適用できないとダメ！★
★そして、それを浸透できないとダメ！★

3. ルールの浸透

- ルールの浸透

「毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者に
ルールを浸透させる」

競技者にルールを浸透させる

⇒ 競技をコントロールする＝マネジメントする

マネジメントのための正しい手順や工夫を！

＜マネジメントに必要な基本動作＞

【笛の吹き方】

- ・フーではなくトゥー！
- ・笛にメリハリを（重大なファウルは大きさと寄せ！）

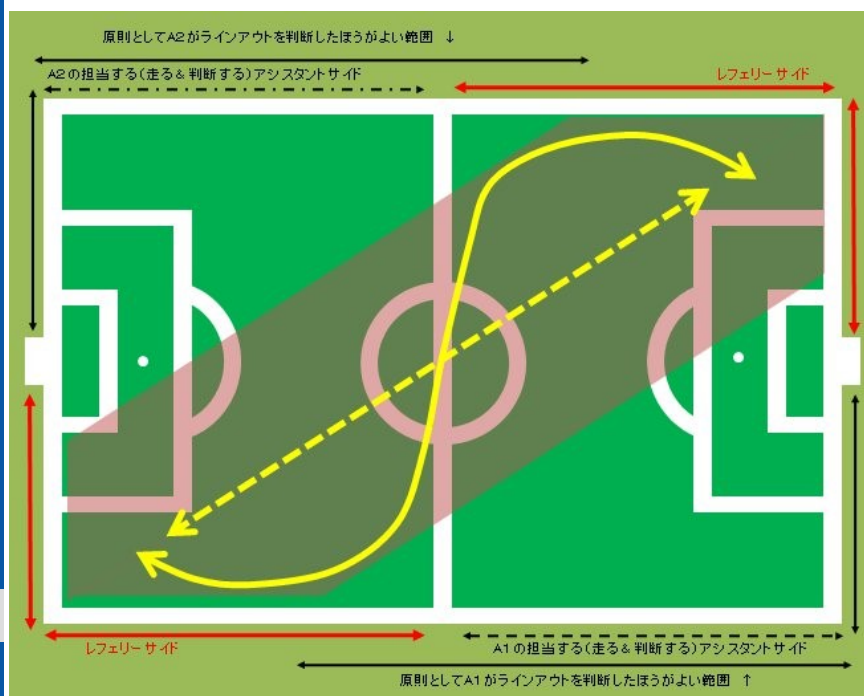
【旗の振り方】

- ・旗は手の一部（主審を的確にサポート）



【走り方】

- 対角線式審判法
- ただし、一番大切なのは近くでジャッジすること！
- 副審は基本ラインキープ。シュート時はゴールラインまで走る。
- 旗は常に中に(サイドステップを多用すること)



ルールの浸透＝競技のマネジメント

<マネジメントのシーン>

- ・試合前(フィールド・メンバーチェック～入場)
- ・キックオフ
- ・競技者の交代
- ・競技者の負傷
- ・フリーキック
- ・ゴールキック
- ・コーナーキック
- ・スローイン
- ・ドロップボール
- ・ペナルティキック
- ・試合終了(退場～審判報告書)
- ・ファウル
- ・アドバンテージ
- ・懲戒処置
- ・得点
- ・競技者
- ・テクニカルエリア
- ・時間
- ・フィールド周辺
- ・レフェリーチーム
- etc.

ルールの浸透＝競技のマネジメント

<マネジメントのシーン>

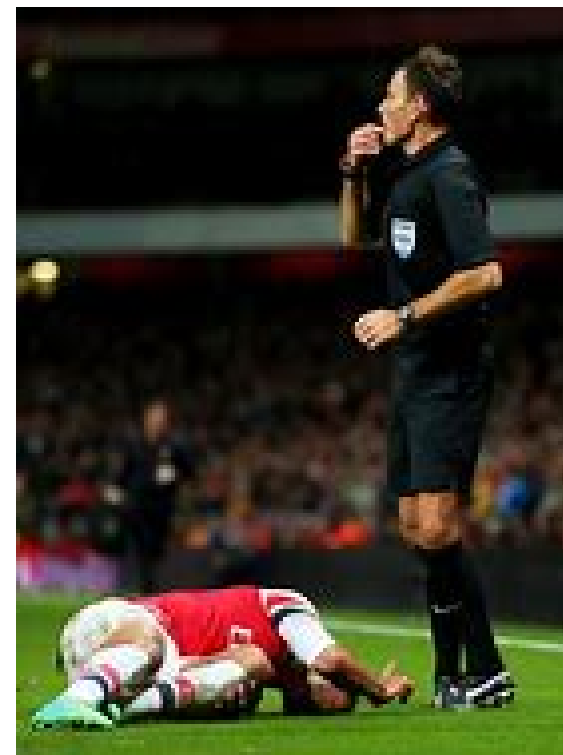
- ・試合前（フィールド・メンバーチェック～入場）
- ・キックオフ
- ・競技者の交代
- ・**競技者の負傷**
- ・**フリーキック**
- ・ゴールキック
- ・コーナーキック
- ・スローイン
- ・ドロップボール
- ・**ペナルティキック**
- ・試合終了（退場～審判報告書）
- ・ファウル
- ・アドバンテージ
- ・懲戒処置
- ・得点
- ・競技者
- ・テクニカルエリア
- ・時間
- ・フィールド周辺
- ・レフェリーチーム
- etc.

【競技者の負傷】

- ・重傷か軽傷かを判断
- ・重傷⇒プレーを停止して
フィールドから退出させる
- 軽傷⇒アウトオブプレーまで
プレーを続ける

＜軽傷時＞

- ①プレーを続けられるかを聞く
- ②すぐに復帰が不可能であれば、時計を止め、
ドクターまたは担架を要請する
- ③フィールドの外へ退出させる
- ④プレーの再開後、主審の合図を受けてから
復帰する





やってみましょう！

- ・主審
- ・第4審
- ・負傷した競技者
- ・チームスタッフ

(マネジメントのひと工夫)

- 負傷した競技者を退出させるためにスタッフを呼んだが、すぐに立ち上がって復帰した。
⇒ スタッフを呼んだら必ず退出しなければならない。
拒んだら反スポーツ的行為で警告される！
- 負傷した競技者が出血していた。
⇒ 確実にフィールドから退出させる。
止血状況は他の審判員に確認させる。
- ゴールキーパーが負傷した。
⇒ フィールド内での治療は可能。
復帰するか、復帰できず交代するまで、
試合を止めて構わない。

【フリーキック】

- ・けが、もめ、懲戒対応
- ・なければ
クイックリスタート可能
＝ポイントへ寄らない



- ・クイックリスタートないが、主審の介入不要
＝ポイントへ寄らない
- ・再開位置の確定、壁下げ、壁の中へ注意 等必要
＝ポイントへ寄る ＝ゲームを止める
- ・再開の合図を待つように伝える
- ・ボールの位置や壁の位置を決める
- ・壁の中での競り合いに対し予防措置を行う
- ・副審とポジションを確認し、笛の合図で再開



やってみましょう！

- ・主審
- ・副審
- ・ファウルされた競技者
- ・壁となる競技者

(マネジメントのひと工夫)

- 7mの距離を測るとき、
 ボールを動かされないように
 ⇒ボールを監視しながら、
 後ろ向きに歩測を行うと確実。
- 歩測の仕方によって距離の説得力が異なる
 - ①ニアサイドのゴールポストに向かって
 - ②途中で止まらずに一気に測る
 - ③壁の選手がそろってから離れる
- 壁の中での競り合いに対し予防措置をとる
 「飛び出さないで」「手は挙げないで」「押さないで」

【ペナルティキック】

- ポジション
につく
- 笛を吹く



- ペナルティキックを行う
- インプレーを確認する
- 正しく行われたか、
またペナルティキックの完了を確認する
- 相応の措置をとる

ペナルティーキックの結果

	ゴール	ノーゴール
攻撃側競技者 による侵入	キックを再び行う	間接フリーキック
守備側競技者 による侵入	ゴール	ペナルティーキックを再び行う
ゴールキーパー による反則	ゴール	再び行う+警告
ボールが後方に けられた	間接フリーキック	間接フリーキック
不正なフェイント	間接FK+警告	間接FK+警告
特定されていない キッカー	間接フリーキック +特定されていないキッカーに 警告	間接フリーキック +特定されていないキッカーに 警告
<u>ゴールキーパー</u> <u>およびキッカーが</u> <u>同時に反則</u>	<u>間接フリーキック</u> <u>+キッカーに警告</u>	<u>ペナルティーキックを再び行う</u> <u>+キッカーとゴールキーパーに</u> <u>警告</u>



やってみましょう！

- ・主審
- ・副審
- ・キッカー
- ・ゴールキーパー

麻生区ジュニアサッカー連盟審判部

○審判部について○

審判部

田中	審判部長 真福寺FC
安藤氏	百合丘子どもSC 審判担当
加藤氏	南百合丘SC 代表
	川崎市サッカー協会副理事長
岸本氏	元柿生SC
酒井氏	真福寺FC
馬場氏	柿生SC
渡邊氏	柿生SC

レフェリー サポーター

10名 麻生区の各チームより有志

○主な活動○

- (1)主要大会の本部付けアドバイザー対応
- (2)主要大会の上位試合を連盟割り当て
- (3)審判講習会の開催



等

主な活動内容

- (1) 審判講習会(座学4月)
- (2) 春季低学年大会麻生地区予選
- (3) NKリーグ5年生大会
- (4) 審判講習会(実技9月、座学10月)
- (5) NKリーグ3年生大会
- (6) 新人戦5年生大会麻生地区予選
- (7) トレセン大会審判派遣

麻生区審判部の2019年度目標

「マネジメント力を付けよう！」

- ・・・麻生区を代表するレフェリーが増えてきていることから、
競技者へのルールの適用力を向上させるとともに、
浸透力(競技のマネジメント力)の向上も目指し、

麻生区レフェリーサポーター制度について

一緒に、レフェリー、やろう！

麻生区では、主催大会を数多く実施しています。子どもたちの熱い戦いをサポートし、成長を支える黒子となるのがレフェリーです。

ぜひ私たちと一緒に、麻生区のジュニアサッカーを盛り上げませんか！

<募集概要>

- **主管** : 麻生区ジュニアサッカー連盟（以下「連盟」） 審判部
- **活動内容** : 連盟主催試合・トレセン試合の審判対応、審判講習会補助 等
- **参加要件** : 連盟所属チーム関係者（コーチ、父母、選手、OB）であり、
所属チームの了承のもとで活動を許される方。
サッカー審判員資格を保有している方。（今後取得を検討されている方も応相談）
- **応募方法** : 連盟審判部 田中までメールにて応募ください becks.hajime@gmail.com

ご清聴、ありがとうございました！



麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部 田中

ルールに関するご質問等お気軽にお問い合わせください
becks.hajime@gmail.com